

奈良市の隠れ里Nyu farm実行委員会 概要説明

I. 団体設立の目的

2015年4月に大和高原の主要産業である「大和茶」のブランド化とともに、里山づくり体験を通じて、地域と都会との交流を図ることを目的として、任意団体である「奈良市の隠れ里 Nyu farm実行委員会」を立ち上げました。

地域と都会の交流をはかりながら、隠れ里丹生町を中心とした大和高原の地域活性化に取り組んでいます。

II. 奈良市の隠れ里 Nyu farmの事業内容

奈良市丹生町では、柳生氏とともに春日社の荘官を勤める「国民」であった「丹生氏」がいた土地です。町内には2つの古城跡があります。また、丹生神社の本殿は国の重要文化財となっています。丹生町には寺はなく、明治十九年に全村が改宗して、多くの寺を廃しましたが、「三日地蔵」として、地蔵尊が三日ごとに各戸持ち送りで順にまつられる風習が残っています。この歴史ある丹生町を起点として大和高原の地域活性化をめざします。



- ①里山づくり事業
- ②大和茶応援隊事業
- ③大和高原の歴史の探求と情報発信・イベント企画事業

III. 沿革

◇設立までの経緯は以下のとおり

年	概要
～2013年	2015年4月1日までは『奈良市の隠れ里 Nyu farm 実行委員会』の母体となるイタリアンレストラン「アトリエ・ラ・ズッカ」、農家民宿「十六夜山荘」が個人の取り組みとしてイベントを実施
2014年	・しいたけ狩り体験 ・茶摘み体験(5/14) ・お餅つき体験(12/29)
2015年	・しいたけ・なめたけ植菌体験・炭窯体験(2/24) ・早春のお茶事(2/3) ◎【団体の設立および奈良県地域振興課の「平成 27 年新たな文化チャレンジ補助金」の応募を目的として検討会を実施】 ・第1回 大和茶応援・団体設立 検討会議(2/12) ・第2回 大和茶応援・団体設立 検討会議(2/18) ・第3回 大和茶応援・団体設立 検討会議(2/26) ・第4回 大和茶応援・団体設立 検討会議(3/6) ・第5回 大和茶応援・団体設立 検討会議(3/15) ・第6回 大和茶応援・団体設立 検討会議(3/20) ・お雛様のお茶事(3/21) ・第7回 大和茶応援・団体設立 検討会議(3/26) ○「平成 27 年新たな文化チャレンジ補助金(奈良県地域振興部 文化振興係)」に応募。

2015年	<p>◎『奈良市の隠れ里 Nyu farm 実行委員会』設立(4/1)</p> <p>◎設立総会および助成金に関する申請内容検討会(4/2) 「平成27年度「記紀・万葉」県民活動支援補助金」に関する打ち合わせ</p> <p>◎ホームページ開設(4月以降随時公開) 丹生土産の発掘と商品開発と販売。例としては、里山づくりに通じる炭づくりと炭の販売。原木しいたけの再生と商品開発、休耕田で蕎麦畑づくり、養蜂と蜂蜜の販売。大和茶スイーツの商品開発と販売。大和茶レシピの開発とネット上でPR。丹生オリジナルの商品と、販売ルートの開拓。農業の大切さもネット上でリアルタイムに伝えていく</p> <p>◇「平成27年度「記紀・万葉」県民活動支援補助金」(4/14)応募</p> <p>○「平成 27 年新たな文化チャレンジ補助金」の企画を公開プレゼンテーションで発表(4/25) 全額予算は認められなかったが、50万円の補助金が認められた。</p> <p>○「Nyu farm の茶摘み(5/16)」イベントの実施<文化チャレンジ補助金事業> 手摘み、手もみの体験と、大和茶の応援歌として、「やまと茶摘み唄」を丹生町出身の俳人中久保 白露さんに作詞して頂き、河内音頭取りの永田充康さんが歌い、動画作家の松本敦さんによって撮影され、動画投稿サイトYouTubeにアップし、イベントに参加出来なかった方にも、大和茶と丹生の魅力をPR。 この茶摘みイベントには、総勢 70 名が参加。多くの参加者は、大阪からのファミリー客で、都会では体験出来ない、茶摘みや、田んぼでかえるやおたまじゃくしの観察、お茶づくりの食を通して山のもてなし、里山の一日を楽しんで頂いた。このイベントの行政の関わりとして、奈良市ブランド推進課/奈良市東部地域おこし協力隊の協力で、スペイン人のアントニオさんと、奈良県知事公室国際部のルーカスさんも参加。海外から見た日本の伝統文化として、茶の湯にも触れて頂き、動画投稿サイトYouTube「大和茶、世界へ。」の主演として登場頂いた。 ・上記で撮影した『やまと茶摘み唄』をyoutubeで配信(5/28) https://www.youtube.com/watch?v=QuELmUiaQh4 ・上記で撮影した『奈良の大和茶、世界へ(Yamato tea, to the world)茶摘み体験ダイジェスト』をyoutubeで配信(6/6) <再生回数 2015.6.28 現在 10,891 回> https://www.youtube.com/watch?v=zR0kvVzE8L0 ※上記の動画は「特集-まち・ひと・しごと創生:政府広報」の動画として登録(6/12)</p> <p>○「平成27年度「記紀・万葉」県民活動支援補助金」の企画を公開プレゼンテーションで発表(5/16)</p> <p>○秋の観月会(9/27)</p> <p>○茶粥コンサート(10/3) <文化チャレンジ補助金事業> 丹生ファーム今後の活動。2015年10月3日土曜日に、「茶がゆ&やまと茶摘み唄コンサート」の決定。イベントを通して丹生の郷土料理の伝承、茶がゆでもてなし、「やまと茶摘み唄」ライブを通して、大和茶ファンを募る。地元の農家さんの指導による「ほうじ茶」作り体験、粉殻を使った焼き芋</p> <p>○五感で大和の心呼びさます～丹生Nyu万葉モノオペラの夕べ&秋の万葉植物を愉しむ～(10/24・25) <「記紀・万葉」県民活動支援補助金事業> 五感で大和の心呼びさます～丹生Nyu万葉モノオペラの夕べ&秋の万葉植物を愉しむ～。ニューヨーク在住のオペラ歌手重松みかさんと、作曲家ピアニストの次郎丸さんによる、万葉をテーマにしたオペラ歌手が歌う万葉の歌。歴史ある丹生神社の奉納オペラから始まり、舞台を移し、日本民家の田の字で万葉モノオペラ。檀原考古学研究所の先生による、歴史のお話。田舎の里山屋台で都会の人々をもてなすなど、五感で丹生で過ごす1日を満喫頂くイベントとする。</p> <p>○特定非営利活動法人 水都OSAKA・水辺のまち再生プロジェクトと親睦会(11/7)</p> <p>○蕎麦の収穫(11/12)</p>
2015年 (今後の予定)	<p>○炉開き(11/21) ※その他、イベントを開催予定。</p> <p>○外国人旅行者オプションツアーの実施 旅行会社と連携した、ツアーの企画。十六夜山荘で食事体験、丹生町および近隣エリアの観光</p> <p>◎Nyu farmサイトでのネット通販の本格展開。(11末)</p> <p>○Nyu farmの餅つき(12/29)</p> <p>※都市と農村を結びつけ少しでも丹生町や大和高原に興味をもっていただける活動を続けます</p>

◇産経新聞(2015.06.19)

「過疎化進む大和茶の産地、奈良・丹生町おこしで女性たちが町おこし」
<http://www.sankei.com/region/news/150619/rgn1506190045-n1.html>

奈良市の山間地域
 過疎化が進む大和茶の産地、奈良市東部の丹生町に女性たちが、地域おこしを目指した住民団体「Nyu farm(にゅうふぁーむ)」を結成。茶摘みイベントやコンサートを企画し、ふるさとの活性化に向けて活動を始めた。町には重文の丹生神社や磨崖仏などの文化財もあるが、町には重文はあまり知られていないため、地元の歴史なども発掘してPR、観光客を呼び込もうとしている。

丹生町は奈良市中心部から車で約30分の東部山間地域にあり、柳生地域の南に位置。大和茶の産地として知られるが、若者の流出と過疎化が進んでいる。そんな中、豊かな自然と地域の特産品の大和茶などを生かした地域おこしをはかろうと、今年4月結成されたのが「にゅうふぁーむ」。中心メンバーは農家民宿「十六夜山荘」を営む福岡美代子さん(62)と、イタリア料理店「アトリエ・ラ・スッカ」を営む福岡文代さん(47)だ。福岡さんは地元出身の元小学校教師。子供が独立して自宅の部屋が空いたことから今年2月、自宅の1棟を使った奈良市内で2番目の農家民宿をオープンさせた。定員は7人で、いもやあり、農業体験や茶道が楽しめる。一方、大阪出身の福岡さんは豊かな自然に魅せられて16年前に移り住

過疎化進む大和茶の産地
 住民団体結成

女性たち
 丹生町おこし

茶摘みイベントなど企画／歴史発掘PR

2年前にイタリア料理店をオープンさせた。プロの音楽家(ジャズドラマー)に依頼して、大和茶をPRする「やまと茶摘み唄」も制作。10月の茶摘みイベントにも参加し、約70人が参加した。

地域おこしに取り組む福岡美代子さん、福岡文代さん、黒田篤史さん(左から)＝奈良市丹生町

「にゅうふぁーむ」の立ち上げには奈良市の東部地域おこし協力隊、黒田篤史さん(左)も協力した。町の入り口にある丹生神社本殿の棟木には室町時代の書吉2(1442)年の墨書があり、本殿は重文指定。近くでは江戸時代に彫られたとみられる「千代地蔵磨崖仏」も見ることができ、古い歴史も秘めている。

福岡さんは「丹生は自然豊かな『奈良市のかくれ里』。大和茶を応援する活動を行いながら、地域の歴史・文化を伝える活動にも取り組み、丹生をPRしていきたい」としている。

「にゅうふぁーむ」の事務局は(☎090・3353・0753)。十六夜山荘は(☎0742・294・0048)。

◇月刊地域情報誌「yomi っこ」(2015.7月号)

「あの街、この町、今月のまちネタ『やまと茶摘み唄』を世界に配信」

◇産経新聞(2015.10.22)

「奈良市丹生町で唄と講演イベント」

◇田舎暮らしの本 2015.12月号

「大和茶の産地で女性達が 農家民宿や茶摘みイベントde町おこし！」

◇月刊地域情報誌「yomi っこ」(2015.12月号)

「自然と暮らすvol. 91『大和茶応援団 大和高原から世界に発信』」



河内首領の太鼓のり、緑の旗が広がる茶畑。子どもたちが走り回り、賑わった。若男女が茶摘みイベントに出る。『やまと茶摘み唄』は、今年5月、奈良市丹生町から『やまと茶摘み唄』が動画で世界に発信された。これは大和茶、大和高原をPRするために、奈良市の隠れ里Nyu farm実行委員会が企画したものだ。

同会は、代表の福岡文代さん(農家民宿「十六夜山荘」を営む福岡美代子さん、奈良市東部地域おこし協力隊の黒田篤史さんの3人を中心に、地域の人が協力している。

福岡さんは16年前、美しい丘陵の風景と、野菜のおいしさに惹かれ、大阪から移住してきた。2年前からイタリヤのアトリエ・ラ・スッカを夫婦で営んでいる。この山に訪れる客の多くが大和茶を愛する人たち。そこで、タイム

奈良市丹生町Nyu farm実行委員会
 アトリエ・ラ・スッカ
 奈良市丹生町1385 (アトリエ・ラ・スッカ内)
 2016年 2月 早稲のお茶会
 5月 茶摘みイベントなど

Kenae Fumiyu
 大和市出身、イベント企画制作会社に勤務した後、夫でシェフの福岡文代さんと共にイタリヤのアトリエ・ラ・スッカを営む。16年前奈良市丹生町に移住し、2015年4月、同じ志を持つ地域の女性とともに『奈良市丹生町おこし』を結成し、Nyu farm実行委員会を結成させる。

奈良県奈良市丹生町
 大和茶の産地で女性たちが 農家民宿や茶摘みイベントde町おこし！

奈良市中心部から車で約30分、大和茶の産地として知られる丹生町。今年4月、町の女性たちが地域おこしを目指した任意団体「Nyu Farm(にゅうふぁーむ)」を結成。茶摘みイベントや農業体験などの活動をスタートさせた。今後は茶畑景観維持や郷土料理伝承、里山づくりの推進や茶畑などの取り組みも計画している。また、農業や茶道体験ができる農家民宿「十六夜(いざよい)山荘」もあり。

丹生町物件情報
 奈良県奈良市丹生町 350万円
 土地 不明 | 延床 不明

写真ももちろ身体験。ほかにもほうじ茶、イモ掘りなどの体験イベントを実施予定。
 5月に行った一番茶の茶摘みイベントの様相。昔ながらの籠を背負ったスタイルで体験。

奈良市丹生町Nyu Farm実行委員会
 ☎0742-94-2015
<http://narahinyu.jimdo.com/>

自然と暮らす
 vol.91
 奈良市の隠れ里 Nyu farm
 実行委員会 代表
 福岡文代さん

